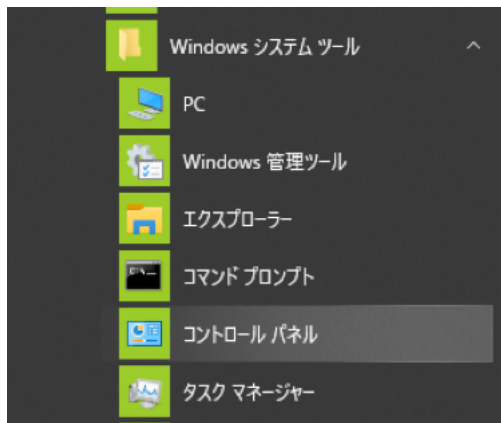


ダイレクトモニター機能の設定方法

Windows 10の場合

1. OSのコントロールパネルを開きます。

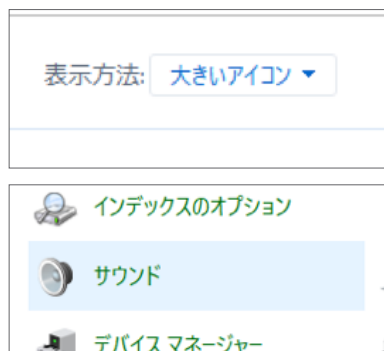


Windows のスタートボタンを左クリックし、「Windows システムツール」内の「コントロールパネル」を選択。

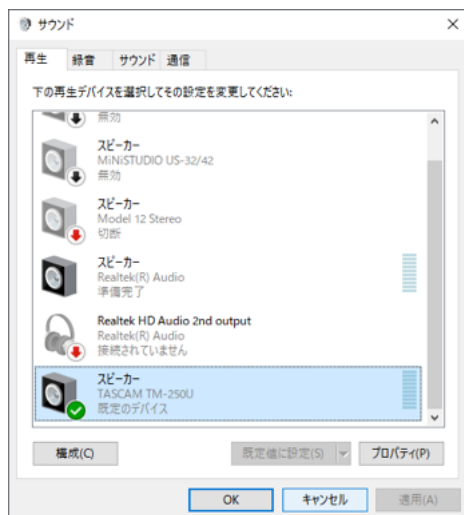
2. コントロールパネル内の「サウンド」をダブルクリックして開きます。

メモ

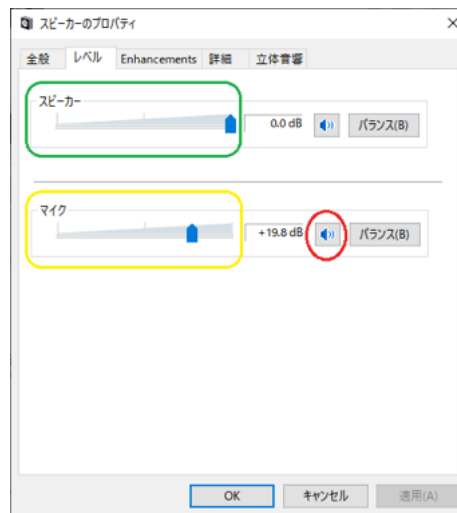
コントロールパネルの表示方法を「アイコン」に設定すると「サウンド」アイコンが表示されます。



"サウンド"を開き「サウンド」ダイアログ画面が表示されます。

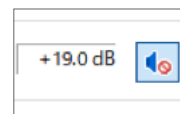


3. 「再生」タブの「スピーカー (TASCAM TM-250U)」を選択し「プロパティ」をクリックします。「レベル」タブを選択、表示させます。



上記、赤枠の丸のようにスピーカーアイコンが有効になっていることを確認します。

無効の場合は x 印が付きダイレクトモニターの音は聞こえません。



このスピーカーアイコンをクリックして有効にします。

有効になっている場合でもダイレクトモニターの音量調整が低いままですとマイク音が聞こえづらいので画面のスライダー（黄枠）をマウス操作で調整し、ダイレクトモニター音も含めた全体の音量調整はスピーカーのスライダー（緑枠）で行います。

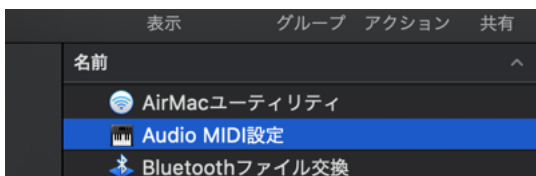
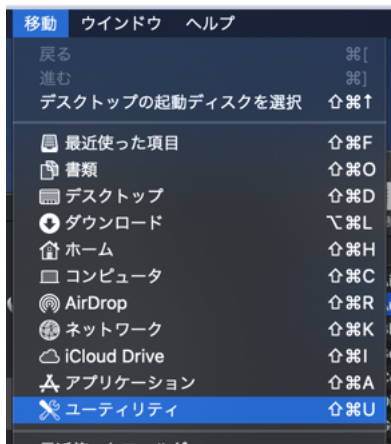
メモ

TM-250U本体のVOLUMEはパソコンからの再生音とダイレクトモニターの総音量を手元で調整が可能です。ダイレクトモニター音とパソコン再生音のバランス調整をパソコン側で最初に行い、放送中など実際の使用時は全体の音量調整をTM-250U本体のVOLUMEで行うことをお勧めします。

4. 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

macOSの場合

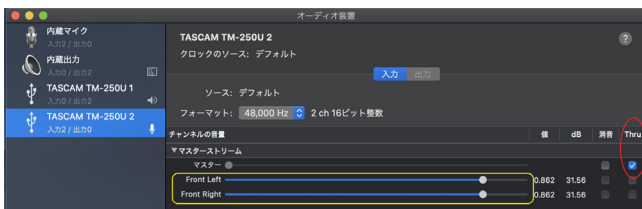
- Finderメニュー「移動」>「ユーティリティ」からAudio/MIDI設定を選択します。



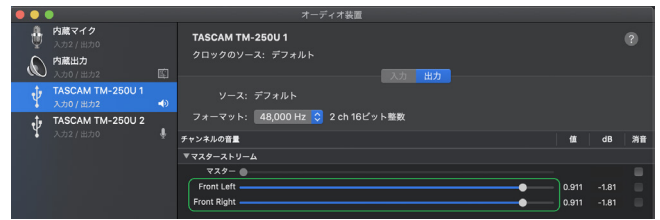
- 「Audio MIDI設定」の「オーディオ装置」ウィンドウで「TASCAM TM-250U 2」（入力側）、「入力」のタブを選択。



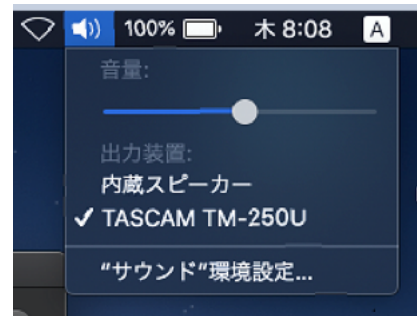
- THRU（赤枠）の設定にチェックを入れ、ダイレクトモニターの音量調整を下記スライダー（黄枠）で行います



- ダイレクトモニター音とMacの再生音の全体音量は下の「TASCAM TM-250U 1」（出力側）スライダー（緑枠）で行います。



メニューバー上にあるスピーカーアイコンのスライダーでも全体の音量調整が可能です。



放送中など実際の使用時は全体音量調整をTM-250U本体のVOLUMEで行うことをお勧めします。